

新聞教育の大切さ 全国新聞教育研究大会

第53回全国新聞教育研究大会(全国新聞教育研究協議会など主催)は8月4日と5日、さくらホール・黒沢尻東小学校で行われました。

県内外の小中学校教諭とPTA関係者ら約400人が参加。4日は、文学博士で第5期中央教育審議会副会長の梶田勲一さんが「言語能力育成と新聞教育～学習指導要領の新しい取り組みのために～」と題して記念講演を行いました。5日は、同小学校で公開授業と研究発表が行われました。



新聞が言葉の力を養うことにつながる
と話す梶田さん



まといを贈呈される平藤大雅くん(5歳・左)と島山真緒ちゃん(5歳・中央)

防火への決意を胸に おにやなぎ保育園幼年消防クラブ結成

おにやなぎ保育園幼年消防クラブ結成式は7月28日、同園で行われました。同クラブは同園の全園児101人で構成され、式には4・5歳児が参加。5歳児21人が代表して絶対に火遊びしないなどの防火の誓いを発表し、幼年消防クラブとして防火への決意を示していました。

北上地区消防組合管内での幼年消防クラブは、同園が加わり11クラブ(北上市9、西和賀町2)になりました。

天体に理解を深めた夜 くちない星まつり

くちない星まつり(NPO法人くちない主催)は2日、口内イベント広場で行われました。一戸町天文台の吉田偉峰さんが口内町から見える星について解説しました。その後に天体観測が行われたほか、口内小学校の児童がペットボトルで作った「星灯かり」が会場を彩りました。

花巻市から参加した阿部拳士郎君(小学3年)は「曇り空で星は見えなかったけど、望遠鏡は遠くのものがはっきりと見えて、びっくりした」と話していました。



ボランティアの人から教えてもらい、望遠鏡をのぞく参加者



ブルーベリーを摘み取り、さまざまな味を楽しむ参加者

おいしさで笑顔あふれる ブルーベリー摘み取り&ジャム作り体験

ブルーベリー摘み取り&ジャム作り体験は7月30日、しゅうブルーベリー園で開催されました。参加者は22人。ブルーベリーを摘み取る体験や手づくりブルーベリージャム作り体験を行い、新鮮なブルーベリーを味わいました。

参加した岩崎裕也君(黒沢尻北小5年)は「お店で売っているブルーベリーより甘くておいしい。同じ木でもいろいろな味があってびっくりした」と摘み取って食べた感想を話していました。

司書の仕事と本の大切さ学ぶ 一日図書館司書体験

一日図書館司書体験は4日、中央図書館で行われました。参加した6人の児童は、書架の整理や本のカバー掛け、カウンターでの本の貸し出し体験のほか、郷土資料の収集や保存について勉強しました。嶽間澤未那さん(黒岩小5年)は「カウンターでの仕事楽しい。自由研究にもなるし、いろいろな体験をしてみたい」と笑顔で話していました。

これは図書館や司書の仕事を知ってもらおうと小学5・6年生を対象に夏・冬休み期間中に行っています。

笑顔で図書館や司書の仕事を体験した参加者



満面の笑みで昼食の流しそうめんを食べる児童

仲間と過ごした3日間 鬼っ子合宿

鬼っ子合宿(鬼の館主催)は2～4日、ふるさと体験館・北上で行われました。小学3～6年生36人が参加。妖怪ランプづくりなどの創作活動、ウォークラリー、川での魚のつかみ取りなどを行い、思い出深い夏休みのひとときを楽しみました。

参加した甲木涼雅君(和賀東小3年)は「いろいろなことをやってみたいと思って参加した。紙すきは調節が難しかったけど、楽しかった」と笑顔で話していました。

カイコの動きに興味津々 一日子供農業研究員

「一日子供農業研究員～夏休み蚕(かいこ)の飼育体験～」は3日、岩手県農業研究センターで開催されました。小学5年生を中心に児童25人が参加。試験・研究体験を通じて子どもたちへ農業への理解を深めてもらおうと県職員OBによる「繭と糸の会」の会員が講師を務め、カイコの観察やスケッチ、体の仕組みや飼育方法などを楽しく学びました。

参加した今聖矢君(和賀東小5年)は「顕微鏡でカイコを見るとかわいかった」と話していました。

ルーペでカイコの体の仕組みなどを観察する参加者



服を着たまま水に浮かぶことに挑戦する児童

ペットボトルなどを利用 着衣泳体験

着衣泳体験(北上地区消防組合主催)は7月23日、和賀東小学校で行われました。同校2・4・6年生169人が体験。学年ごとに上下の服と靴を着たまま水難事故に遭った際、ペットボトルを腹の前に抱えて体を浮かせて救助を待つ対処法を教わりました。

熊谷誠龍君(2年)は「服を着てプールに入ると自由に動けなかったけど、浮くことができた。おぼれないようにペットボトルを体に当てるやり方を覚えた」と話していました。